

2016年 3月 7日
上毛新新聞掲載

「大地震」で救助、処置

済生会前橋病院が災害訓練



災害訓練でトリアージを行う参加者

0人が、傷病者の搬送や治療など、災害時の対応を確認した。県南部を震源とする大規模地震が起きたと想定、一部倒壊したビルから傷病者を救助するところから訓練し

た。病院内に災害対策本部を設置し、症状によって治療の優先度を決めるトリアージを行い、処置に当たった。訓練は、非常事態に直面した際、地域ニーズに 대응する医療体制を充実させるのが目的。

西田院長は「災害拠点病院としての役割を果たしていきたい」と意気込み、訓練を見学した東地区自治会連合会の竹之内孝之会長は「地域でも訓練への協力態勢を築いていきたい」と話していた。

済生会前橋病院（西田保二院長）は5日、前橋市上新田町の同病
院で災害訓練を行った。医師や看護師、市消防局の職員ら約12